

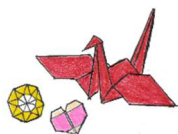


こんげつのイベント



新型コロナウイルス感染防止のため、今後の状況によりイベント等につきましては、中止となる場合がございますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

☆ 今月の展示 ☆ ～たなべる 1 階交流ホール～



新庄おりがみサークル作品展



期 間：令和4年5月7日（土）～5月25日（水）まで

シネマランド

世界名作アニメーション

おやゆび姫

日 時：5月28日（土）午後2時～2時50分
場 所：田辺市文化交流センター「たなべる」2F大会議室
定 員：30名程度（先着順）※申込みは不要です。

問い合わせ：田辺市立図書館 0739-22-0697

～ おはなしのへや ～

★ おはなしタイム ★ 毎週土曜日

おはなしや絵本の時間です。

日時：5月7日（担当：田辺おはなしの会こぐま）

5月14日（担当：縋るル読み聞かせ隊）

5月21日（担当：マメ子おはなしの会）

5月28日（担当：図書館ボランティア）

11:00 ～ 11:30

対象：4歳くらいから

☆ おはなし会 ☆ 毎週日曜日

おはなしや絵本の時間です。

日時：5月1日/8日/15日/22日/29日

11:00 ～ 11:30

対象：4歳くらいから

担当：職員

☆ ひよこタイム・こぐまタイム ☆ 毎月第3水曜日

あかちゃんえほんやわらべうたの時間です。※各回5組限定 電話申込み必要

日時：5月18日（水）

ひよこ 11:00 ～ 11:20 / こぐま 11:30 ～ 11:50

対象：ひよこタイムは、0～2才くらいの赤ちゃんと保護者の方

こぐまタイムは、2～3才児と保護者の方

担当：職員

申込方法：事前にお電話でのお申込みが必要です。受付開始日5月4日（水）



貸出しランキング



過去2ヶ月の貸出しベスト5です。館内のOPAC（蔵書検索機）でもご覧いただけます。

1.『探花 隠蔽捜査9』

2.『透明な螺旋〔ガリレオ〕〔10〕』

3.『女のいない男たち』

4.『李王家の縁談』

5.『もう別れてもいいですか』

5.『護られなかった者たちへ』

今野 敏//著 新潮社

東野圭吾//著 文藝春秋

村上春樹//著 文藝春秋

林真理子//著 文藝春秋

垣谷美雨//著 中央公論社

中山七里//著 NHK 出版



発行 田辺市立図書館

田辺市東陽31-1

田辺市文化交流センター「たなべる」内

TEL 0739-22-0697

FAX 0739-22-6249

今月のピックアップ Book



読んでみてね！

『花屋さんが言うことには』 山本 幸久//作 ポプラ社

主人公の紀久子は24歳。勤めていた会社がブラック企業で、仕事に疲れ果てていた。辞表を出したものの、辞めたい紀久子と引き止める元上司が深夜のファミレスでもめていたところを李多（りた）という女性に助けられる。李多は花屋を営んでおり、紀久子はその花屋でアルバイトとして働くことになった。李多やお店のスタッフ、お客さんたちに助けられながら少しずつ花屋の仕事に慣れていく…。

季節ごとの花や花言葉、短歌や俳句など、花にまつわるエトセトラがお話の中にたくさん出てきます。ぜひ読んでみてください。(M)



『非認知能力をはぐくむ絵本ガイド 180』 寺島知春//著 秀和システム

「非認知能力」とはなんなのでしょうか？ この能力は、「感情の動きを他者とのコミュニケーションに活かす力」で、人が生きるための大切な基礎的能力であると筆者は述べています。非認知能力を有することで社会生活に充実を感じながら生きやすくなり、また、非認知能力を足がかりにして学力などが伸びたり、伸びた学力を足がかりに非認知能力が伸びたりといった相互作用も生み出されるそうです。この能力は幼少期から児童期にかけて伸びやすいと言われており、絵本がその能力の育成に役立つと考えられていることから、筆者は非認知能力の中身を「忍耐力」「自己抑制」「目標への情熱」「社交性」「敬意」「思いやり」「自尊心」「楽観性」「自身」の9つに分類し、それらの力を伸ばす絵本を能力ごとに20冊ずつ合わせて180冊紹介しています。例を挙げると、五味太郎/作『きんぎょがにげた』は「自信」を、エリック・カール/作『はらぺこあおむし』は「思いやり」を育む絵本として紹介されています。

この本は「非認知能力」という観点から絵本を紹介していることに特徴があります。伸ばしたい能力で絵本を探したり、慣れ親しんできた絵本にはどの能力の育成に効果があるのかを見つたりするなど、新たな視点で絵本を選び、絵本が持つ力を再発見できる一冊となっています。(佳)



『世界一ひらめく！算数&数学の大图鑑』 アンナ・ウェルトマン//文
ポール・ボストン//絵 小林玲子//訳 河出書房新社

学校で勉強する算数や数学は、公式を覚えて計算したり、図形を書いたりしますよね。でも、その歴史は知っていますか？この本では、数学の歴史や、へんてこな話、わくわくするような話が紹介されています。また、ちょっとした計算間違いで、大きな問題が起こった話もありますよ。最初からでも、気になるところからでもいいので、興味のある方は数学の世界をのぞいて、数学の考え方にふれてみませんか？もしかしたら、本を読んでいるうちに数学の豆知識が身につく、得した気分になれるかも…。(竹)



たなべる

Letter 第 124 号
【令和4年5月号】

☆ 図書館カレンダー ☆

5月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

○印が、たなべるの休館日です。

閉館時の本の返却は、たなべる入口右側の「返却ポスト」をご利用ください。

今月のテーマ展示

～空を見上げて～

5月10日～5月16日は、愛鳥週間です。市内でも1年を通して様々な鳥を見ることが出来ますね。今回の展示では「鳥」にまつわる本をとりあげてみました。



『わたしが鳥になる日』
サンディ・スターク・マグニス
(作)千葉茂樹(訳)小学館

『世界の美しい飛んでいる鳥』
澤井聖一(編)エクスナレッジ



『この羽 だれの羽?』
おおたぐろまり(作・絵)
偕成社

『ドードーをめぐる堂々めぐり—正保四年に消えた絶滅鳥を追って—』

川端裕人(著)岩波書店



ドードーをめぐる堂々めぐり
正保四年に消えた絶滅鳥を追って
川端裕人

